

副市長レビュー（春）協議事項調書

1 部局名 (課名)	こども家庭部 (子育て支援課)	
2 協議事項 (案件名)	子どもの貧困対策における学習支援事業等の拡充	
3 背景・現状 (現状把握できる統計数値など)	<ul style="list-style-type: none"> ・ R2 実施の子どもの生活実態調査の結果、生活困窮群 8.6%のうち約 8 割の方が身近な場所での学習支援を希望（推計対象児童数 2,097 人） ・ 学習支援団体（民間・行政含）は 25 団体あり、H29 サマーレビュー時の 260 人から 780 人（R3.3 月末現在）まで、受入れ定員を増員してきた。 ・ 国においては、H31.4 月の改正生活困窮者自立支援法の施行を受け、学習面の支援に加え、生活習慣・育成環境の改善を強化する方針や、コロナ禍での子どもの社会的孤立防止として、NPO 等による子どもの居場所づくりなどの活動を促進していく方針が示された。 	
4 検討経過・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習支援が行われていない地域があり、利用ニーズを満たせていない。 ・ 現在受託している事業者以外の新たな受託先の確保 ・ 子どもを支援する学習支援ボランティアの確保や養成 ・ 市の学習支援事業以外にも、子どもの居場所づくり（子ども食堂や学習支援等）の取り組みを通して、地域で子どもの学習面や生活面を支援する団体も増えているが、安定した運営のための資金・人材の確保に苦慮 	
5-1 方向性の提案 (目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 困窮世帯の児童への学習支援事業（市委託）の拡充 ・ コーディネーター事業の業務内容を充実 ・ 市委託の拡充に加え、地域で子どもを支える取り組みを持続・発展させるため、子どもの居場所づくりに対する助成を実施 	
5-2 上記の方向性決定に向け議論する事項 (妥当性、必要性、有効性など)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 学習支援事業の拡充について ➤ 子どもの貧困対策コーディネーター事業の充実について ➤ 民間の子どもの居場所づくりに対する財政支援について 	
6 結果	<input type="checkbox"/> 提案どおり進める <input type="checkbox"/> サマーレビューで審議 <input type="checkbox"/> 提案内容を一部見直して進める <input checked="" type="checkbox"/> 再度、調査研究等を行い検討 <input type="checkbox"/> その他	<p>具体的内容</p> <p>現状の学習支援事業会場の実態やニーズを確認、整理の上、制度内容について再度検討する。</p>
7 その他		